

## 2017 春季生活闘争 闘争開始宣言

「底上げ・底支え」「格差是正」を通じて、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」をめざす 2017 春季生活闘争がいよいよ始まる。

わが国は超少子高齢化・人口減少社会に突入し、労働力人口の減少による人手不足に多くの産業・企業が直面している。また、AI や IoT の飛躍的な進歩による「イノベーション」が労働者の「働き方」の変革を迫っている。今、問われているのは、将来にわたる中期的な社会・経済構造の変化を見据えて、労働者を取りまく環境を改善していくことである。

労使は「経済の自律的成長」と「社会の持続性」のために、月例賃金の引上げにより消費拡大の流れをもたらすという社会の要請に応えなければならない。とりわけ地場の中小企業や非正規雇用で働く仲間、労働組合のない職場で働く仲間の処遇の改善に全力で取り組むことが重要である。

また、長時間労働がひき起こす悲痛な出来事が決してくり返されることのないよう、総実労働時間の縮減に取り組まなければならない。

春季生活闘争が持つ「日本全体の賃金決定のメカニズム」を十分活かし「底上げ春闘」の流れを継続させるとともに、社会全体に拡げていこう。そして、「公正取引の促進」「サプライチェーン全体での付加価値の適正分配」を社会全体の運動目標として、あらゆる関係者とのコミュニケーションを深め、「開かれた春闘」として展開していく。

私たちは、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノソコアゲ応援団」のメンバーとして一人ひとりが主体的に取り組む。

連合佐賀は、構成組織、地域協議会、各労働組合から職場に至るまで総がかりで行動し、最後の最後まで粘り強く闘い抜く。

連合佐賀は、ここに 2017 春季生活闘争の開始を宣言する。

2017 年 2 月 4 日

2017 春季生活闘争・連合佐賀闘争開始宣言集会